

多文化共生について（NZでの体験&マオリの文化）

今回、このブログに載せた理由は、多くの人に多文化共生の良さや大切さを知ってもらいたいと考えたからです。

《NZでの体験&思い出》

私たちは、10月にNZに行ってホームステイやファームステイ、現地の学校のCCELという語学学校、Rangiri Ruru, Avonsideに学校訪問をしました。

英語だけなので、通じなかったときなどは「言葉の壁」を感じたりしました。最初は、何を話せばいいのかわからなかったりしたけど、時が流れていくにつれて会話の数も少しずつ増えていきました。NZの人たちは、みんな優しくて私たちが言葉でつまずいてもずっと待ってくれたりして、その時はとてもうれしかったです。



このセミナー中に、多文化共生について考えてみると、NZには先住民のマオリ民族と植民地だった時にやってきたヨーロッパ系の民族などが住んでいます。ホームステイで、私たちが滞在していたお宅の近くでは、ホストマザーが多民族ととても仲良さそうに話をしている光景を見ました。NZ

の人たちは、自分と違う民族を受け入れていることに気づきました。また、現地の語学学校のCCELで私たちの先生はヨーロッパ系の先生とマオリ系の先生でスピーチの方法を学びました。

さらに、私たちが学校訪問に行ったRangiri Ruruでは礼拝堂にテレビなどのスクリーンにマオリ語の歌詞が表示されて讚美歌を歌ったり、学校訪問初日の放課後に学校のマオリ民族の先生にマオリの伝統の遊びや歌を教えてくれたりして楽しい時間を過ごしました。また、この学校では日本の学校で英語を勉強するようにフランス語やスペイン語を勉強します。私たちは、フランス語の授業で1～10の言い方を勉強してその代わりに日本語で1～10の言い方を現地の学生に教えました。

このように、NZは多文化共生に対してとても意識がたかい国だと思います。たと



え民族が異なっても、受け入れ仲良くすることでお互いに理解しあ
い異文化交流することができます。お互いことを理解しあうこと
で、自分とは違う考え方を知ったりして自分の考えが広くなったり
します。なので、多文化共生を実現することは難しいことかもしな
いけど実現するとよいことがたくさんあると思います。

《NZの先住民族マオリ族の文化について》

皆さんは、NZと聞いたら何を思い浮かべますか？羊やキウイバ
ードですか？

NZには、昔ながらの文化がたくさんあり、例えば日本では他人
に挨拶をするときは、会釈をしたり握手をしたりすると思いますが
NZでは、【ホンギ】と呼ばれる鼻と鼻をくっつける挨拶をしま
す。これは、マオリの伝統的な挨拶でありその理由は、顔を近づけ
て同じ空気を吸うことで生命の息吹を共有し迎えることができると
考えるためです。

次に、【ハカ】と呼ばれるマオリ族の伝統的な踊りです。この踊
りは、本来は手をたたいたり足を踏み鳴らしたりすることで、自分
の力を相手に見せつけて威嚇する踊りです。けれども、現在では相
手に対しての敬意や感謝を表したり、歓迎の舞として披露されてい
たりします。実際、私たちが学校訪問で行ったR a n g i R u r
uでの歓迎会でこの【ハカ】を現地の学生たちが披露してくれまし
た。

今回のこのNZセミナーを通して、外国のことについてもっと知
りたいと思いました。多文化共生とは、国籍や民族が異なる人々が
お互いのことを認め合い対等な関係を築きながら、共に生きていく
ことです。なので、人種が違うことで起こる差別などは多文化共生
に反しています。多文化共生をし、お互いの文化のことについて知
ることで世界はもっと平和になると思います。